

なののはな だより

NANOHANA
DAYORI

老健ちば

No. **110**

July 2024

介護老人保健施設 ケアホーム白井：クリームソーダを飲みながらカラオケ大会



INDEX

①

トレンドTOPIX 潮流
（ニュースウォッチ）

2024年度改定内容！

【通所リハビリテーション】

フォーカス「老健ちば」

〈理事会〉

〈介護報酬改定研修〉

③

令和6年度

千葉県老人保健施設大会開催！

④

千葉県老人保健施設大会

（旧…研究事例発表大会）

⑤

〈研修会報告〉

自由気ままに

ペーパーブログ

〈浩然の気を養う〉

千の星 松戸

事務長 関智之

⑦

〈なののはなスマイル〉施設の笑顔紹介

● ばらの里

● フェルマー夕船橋

〈老健ちばカレンダー〉

〈編集後記〉

<http://www.chiba-roken.jp/>

2024年7月20日 発行

● 発行者/一般社団法人 千葉県老人保健施設協会 ● 編集者/広報委員会

● 〒262-0042 千葉県千葉市花見川区花島町149-1 TEL:043-259-8435 FAX:043-259-8436

トレンド TOPIX 潮流

ちょうりゅう

退院後のリハビリ開始の
早期に期待！顔の見える関
係をどう築く？

リハビリ会議が収入増や
予防の減算免除の鍵に！

ニ
ュ
ー
ス
ウ
オ
ッ
チ

2024年度改定内容！

【通所リハビリテーション】

POINT① 基本報酬の大規模型ⅠとⅡを統合。要件クリアで通常規模型と同額に

「規模別」「時間区分別」となっている通所リハビリテーションの基本報酬は、規模別の部分で大きな見直しがなされた。前年度の月平均延べ利用者数により、通常規模型（750人以下）、大規模型Ⅰ（750人超900人以下）、大規模型Ⅱ（900人超）の3段階に分かれる区分について、大規模型ⅠとⅡを「大規模型」（750人超）に統合。併せて、リハビリの体制を評価する二つの要件を満たす大規模型の事業所は、通常規模型と同じ基本報酬を算定できるようになる。

二つの要件のうち「リハビリテーション専門職の配置」が10対1以上の算出基準は「利用時間の合計÷リハビリ職の勤務時間の合計」と定められた。リハビリ職員の通常の配置を満たしていれば、この要件はクリアできるだろう。カギは「リハビリテーションマネジメント加算を利用者の8割以上に算定」の要件になりそうだ。

リハビリテーションマネジメント加算

については、加算AイとAロの名称が、加算イ（6か月以内560単位/月）及び加算ロ（同593単位/月）に変更。医師が利用者または家族に説明すれば270単位を追加する形になった。さらに上位区分

として、口腔・栄養アセスメントの実施と情報共有などを要件とする加算ハ（同793単位/月）が新設される。

POINT② 退院患者では入院時のリハビリ計画の入手が義務付け

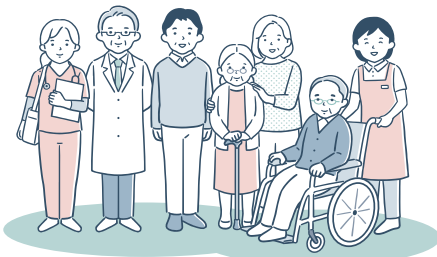
通所及び訪問リハビリの運営に大きく影響を及ぼすとみられるのが、退院から早期にリハビリを継続するための見直しだ。特に、退院後のリハビリの提供にあたって入院中のリハビリテーション実施計画書等の入手が義務付けられ、対応が必須となる。

退院後早期に質の高いリハビリを提供する観点から、**退院時共同指導加算**（600単位/回）も新設された。カギとなるのはリハビリ計画書の入手同様、外部の医療機関との関係の構築だ。算定要件は、事業所の医師または理学療法士、作業療法士もしくは言語聴覚士が、退院前カンファレンスに参加し、退院時共同指導を行った後に、初回のリハビリテーションを行った場合に、当該退院につき1回に限り、算定する。医療機関からのリハビリ引継ぎの実績を重ねて、良好な関係性をいかに築くかが、同加算の算定や医療・介護の双方における継続的なリハビリ提供という今改正の目的を実現するポイントとなるだろう。

POINT③ 介護予防の減算拡大を受け入れるか回避するか判断が迫られる

介護予防通所・訪問リハビリを1年以上利用する場合の減算幅の拡大だ。通所リハビリでは、減算の単位数は6倍になり、要支援1で120単位/月、要支援2で240単位/月になる。ただし、リハビリ会議の開催とLIFEへのデータ提出を行うことで、減算は免除となる選択肢も用意されている。減算幅の拡大を受け入れるか、介護予防サービスの長期利用者のリハビリ会議を行う体制を整えるかである。

（日経ヘルスケア No.414より一部記事抜粋）





令和6年度 千葉県老人保健施設大会 開催!

今年の開催は9月!!

開催
日時

令和6年9月13日(金)

10時~17時

会場

ホテルポートプラザちば

【発表方法】

- ①口演による発表
 - ・発表時間6分間
 - ・テーマは自由
- ②紙上発表



千葉県老人保健施設協会
研修委員長就任



介護老人保健施設
ばらの里
総務課長 大和田 雄太

この度、研修委員長を仰せつかりました介護老人保健施設ばらの里の大和田雄太と申します。介護老人保健施設に勤務して9年となりました。

三度の介護報酬改定を経験し、年々介護老人保健施設に求められる役割が具体化され、加算算定内容も、施設内多職種連携や、医療機関との連携などより多岐にわたってきております。

今後も介護老人保健施設が、地域包括ケアシステムの一翼を担い続けられるよう、新しい技術や知識、システムなど、研修を通じて皆様に提供出来る様、研修委員と協力をして参ります。何卒、よろしくお願い致します。

大和田研修委員長
大会開催に向けて

今年度も昨年同様、9月に「千葉県老人保健施設大会」の開催を予定しております。

研修自体も、徐々に開催方法がコロナ禍前に戻りつつあり、今年度の大会も、会場に足を運んでいただいての直接参加と、施設の諸事情により、会場参加が難しい中でも、他施設の取組みや、事例発表を視聴したいというご要望に対し、ウェブ参加の両面で企画検討しております。

報酬改定の年、皆様の色々な取り組み内容を、県下の老健に「発表」という形で広めて頂くことで、漠然と思いつき、取り組もうとしていたことの具現化や、自施設で参考に出来る気付きにつながる、大変有意義な時間になるかと存じます。

千葉県内における老健同士で情報共有をさせて頂き、全国大会と合わせて県大会も盛り上げていければと考えています。各施設の取り組みを知る貴重な機会です。大会へ多くの施設から多数の参加をお待ちしております。

千葉県老人保健施設大会(旧:研究事例発表大会)

ここで過去の最優秀賞の歴史について振り返り



年度	総演題数	最優秀賞(施設名・演題)	概要
R2～R5はコロナ禍で中止もあり、参加施設も少なかった為、最優秀賞など無くして大会を行う			
R1	21	ハートビレッジ(山武市) 転倒予防事故軽減に向けた取り組み ～「見える化」によるチームアプローチ～	転倒予測シートという多職種で「見える化」したツールの使用を中心としたアプローチで、自立者の転倒件数が減少した。
H30	21	ナーシングプラザ流山(流山市) 在宅での食事の不安をなくそう ～在宅退所へ向けた管理栄養士のかかわり方～	在宅復帰後の食事作りに不安を抱える家族に対して、指導書の作成、説明、退所後のフォローを行う事で不安が解消された。
H29	24	ハートケア流山(流山市) 重度利用者の在宅復帰に向けた 在宅復帰支援と在宅支援の統合について	重症度利用者に対して、入所サービス側と在宅サービス側の協働を行う事で円滑な在宅復帰に繋がった。
H28	24 口述22 誌上2	梨香苑(松戸市) 帰るために頑張る!! ～在宅復帰に向けた多職種での関わり～	多職種連携・協働により、利用者の課題解決・ADLの大幅な向上を達成した在宅復帰となった。
H27	29 口述24 パネル5	フェルマータ船橋(船橋市) 持ち上げない介護 ～いつやるの? 今でしょ!～	職員の意識・知識・技術を改革すると共に、適切な福祉用具の選定・使用を行い、ノーリフトケアを実現する事で、職員の業務負担軽減と利用者の自立度向上、介助量の軽減に繋がった。
H26	26 口述24 パネル2	クレイン(市原市) はじめての言葉は『ありがとう』 ～その人らしさへの回帰～	寝たきりで失語症、嚥下障害、介護抵抗のある方に対し、その方に沿った個別ケアを根気強く行う事で、「ありがとう」の言葉が出、表情が豊かになり、介護抵抗も徐々に減り、外出もできるようになった。
H25	30 口述25 誌上2 パネル3	佐倉ホワイエ(佐倉市) 3分間深呼吸による 自律神経刺激の試み	PT指導のもと、深呼吸を行うことで、利用者の便通、血圧、疼痛、疲労感、睡眠の質の改善がみられた。
H24	29 口述25 パネル4	シルバーケアセンター(旭市) 多職種で取り組む集団リハビリについて 120回はあたりまえ、みんなで起立練習!!	多職種協働、あらゆる場所で集団での起立練習を行う事で、在宅復帰率の向上と在所日数の減少がみられ、利用者の自主トレの定着もみられるようになった。



研・修・会・報・告

新人・基礎研修会

令和6年5月10日ホテルポートプラザにばを会場に新人・基礎研修会が開催されました。26施設から41名の参加がありました。

午前の講師は、ばらの里総務課長大和田雄太氏でした。大和田氏は千葉県老人保健施設協会の研修委員長を務めています。



講義は「ともに考える介護老人保健施設の役割」介護保険制度から知る役割と、新たに求められる役割「がテーマでした。

介護保険制度の講義では、制定・施行の背景から財源など、詳細な説明がありました。

介護保険サービスを利用するための手順、介護保険サービスの種類も分かりやすく、私たちが勤務する介護老人保健施設の役割が理解しやすい内容でした。

午後の講師は、株式会社I・D・O代表取締役会長井戸和宏氏でした。

講義は「認知症状態にある方とのコミュニケーション



「最強のフォロワーになるための批判力」演習は「なりたい自分になるリフレクションスキルを習得しよう」「グループリフレクシ

問力をあげる」の内容でした。

認知機能が及ぼす生活上の支障については、脳の構造、神経伝達のしくみから、認知症の症状を学びました。認知症の正常性に着目し、欲求に応じたケアを提供する大切さを学びました。

リフレクション・フォローアップについて、新人のみならず、中堅・管理職にも、ぜひ学んで欲しい内容でした。

叶えたいことを実現するために必要な5つの勇気、「責任を負う」「役割を果たす」「意義を申し立てる」「改革に関わる」「良心に従って行動する」。この5つの勇気を、参加者は持ち帰り、所属施設を盛り立てると期待しています。

グループワークでは、幅広い年代の、多様な経験を持つ多職種が、積極的に発言をし、会場は熱気を帯びていました。

参加者の感想



なのはな館 みさき
リハビリ助手
平柳 実樹 様

新人基礎研修会に参加し、介護老人保健施設の仕組みや区分基準、施設で働く職員として理解しておくべき基礎的な情報について学ぶことが出来ました。

また、意見交換する機会を設けて頂いたことで、普段無意識に行っている事に対する疑問を抱き「なぜ」を考える機会を得ることが出来ました。

講義の中では自分がどう考えなにかを思っているかなど、自分のことを主に考えていましたが、普段施設で働いている中でも「なぜ利用者様は運動をしたがらないのか」「なぜ気分が落ち込んでしまっているのか」など「なぜ」を考える機会が沢山あります。そのため普段から「出来ない・やりたくない」で終わらせてしまおうのではなく、更に歩み寄り込んで利用者様のことを考えることが当たり前に出来るよう、意識的に習慣付けていきたいと思っています。

さらに、一つのグループに様々な職種の方が居たことで、講義中だけではなく、合間の休憩中に意見を交換し合い、各々の施設の環境や仕事内容、各役職から見た利用者様など普段働く中では得られない情報を聞くことが出来ました。研修の一日を通して、様々な気付きや学びを得ることができ、参加して良かったと思える研修でした。

支援相談員研修会

令和6年6月28日ホテルポートプラザにばにて、支援相談員研修会が開催されました。

一般社団法人W・I・T・H医療福祉実践研究所代表理事 佐原まち子氏を講師にお迎えし、37施設から47名の参加者がありました。

午前は、介護老人保健施設支援相談員活躍の為に題した講義が行われました。



戦後の医療政策の変化から、介護老人保健施設の歴史、支援相談員の専門性について説明があり、ジレンマに向き合ったときには倫理綱領に戻ることを忘れないと、基礎の大切さを学びました。

面接、アセスメントの重要性についての講義では、多くの参加者が、更に深い学びが必要と、感じたと期待します。

午後はワールドカフェによるグループワークを行いました。メインテーマに対して3つのテーマで活発な発言がありました。他施設の実践を生で聴き、日頃の悩みを共有しました。

今年度の支援相談員部会開催についても、期待が持てる有意義な1日でした。

浩然の気を養う

千の星・松戸

事務長 関智之



ここ数年、コロナ禍で人との接触を避けていたことをきっかけに、カフェでの読書時間が増えました。そこで、最近読んだ本の中から私の感想を交えて紹介したいと思います。

一冊目は【推し活経済】です。要約すると「推し」はエンタメとしての性質だけではなく、ビジネスとしても十分取り上げる価値があると云った内容です。推しと言えは、昔はアイドルやアニメを指すことが多かったと思いますが、推す対象の多様化により市場が拡大し、現在では何らかの推し活をしている人は6割いるとのこと。結果、国内だけでなく海外のコアなファンによる経済効果は広く知れ渡っていると思います。

私自身、コロナ禍以前はスポーツ観戦（G党）、音楽・お笑いLIVE、舞台鑑賞、坂道G、新海誠監督などジャンル問わず興味を持ち、各現場で知り合いが増えて充実した時間を過ごしていました。結構ハマりやすい性格な

もので、かつては同じ映画を劇場で25回観たことがある程です。

推し活とは、単なるストレス解消という目的ではなく、大袈裟に言うとな人生にポジティブな影響を与えることではないでしょうか。

ビジネスモデルとしての推し活。私たちの施設も推される存在になりたいものですね。

二冊目は【考えすぎない練習】です。昨今、SNSの普及などで情報過多な社会となっており、考え事が増えています。考えすぎるといことは自問自答を繰り返すことであり、しばしばネガティブな感情に支配されてしまいます。「ポジティブな環境にいる時にはわざわざ考えて行動してはいない」「考えている内容ではなくて考えているという事実そのものが人を苦しめている」「どれも思い当たる節があり、言い得て妙だと思えました。

考えないことの方が遥かに難しいものだと感じており、こういった話はとても参考になります。



新車・中古車販売 新車の福祉車両はもちろん中古福祉車両もご用意しております！ ハイブリッド車 車イス搭載車	買取 大切なお車買取いたします。お車見様だけでも対応いたします。車イス移動車、スロータイプ、その他福祉車両もお持ちしております。	車検・点検 钣金・修理 一般の車はもちろん福祉車両の車検点検、钣金、修理も行っております。福祉車両ならではのシート部分やサイドステップ、車イス固定装置などの車検部のメンテナンスを行います。また、お車をお預かりする際は福祉車両の代車をお出しいたします。
リース 法人様向けに「緊要型メンテナンス」「福祉車両代車」をふくんだ福祉車両に特化したリースをご用意しております。その他、ファイナンスリース、保険付きなども承っております。	レンタカー 様々な車種の福祉車両レンタカーをご用意しております。1ヶ月以上の長期貸出もできます。	保険 自動車保険をはじめ、火災・盗難・傷害・賠償各種お取り扱いがございます。誠実・正確をモットーとし、お客様の期待と信頼にお応えします。

福祉車両のことなら

エンジニアス株式会社

お気軽に
お問い合わせください！

☎048-263-9180

FAX 048-263-3452

〒333-0848 埼玉県川口市芝下1-14-23

BCP・日常業務に業務用無線がお役に立ちます

災害時の
避難誘導に

緊急連絡
手段として

簡単操作で
一斉通話

業務用無線機・インカム・トランシーバー販売

関東電子株式会社

〒260-0022 千葉県中央区神明町5-15

☎0120-456-720

お気軽に
お問い合わせ
ください！



明るく!

元気!

施設の笑顔をご紹介します!



■ ばらの里

介護老人保健施設ばらの里は、平成12年に開設を致しました。

現在、加算型老健として、入所100名(一般棟50名、認知症専門棟50名)、短期入所療養介護、通所リハビリ、訪問リハビリ、居宅介護支援事業を実施しております。

また、八千代市より委託を受け、通所型短期集中予防サービス事業を始め、地域の方々が住み慣れた環境で生活を続けられるよう支援しております。

住 所：八千代市島田台字大東台764-2

電 話：047-480-0105

開設日：平成12年3月31日

入 所：100名

通 所：40名



私は青森県の高校を卒業して、4月からばらの里の一員となりました。

日々、介護に関する知識や技術を向上出来るように努力しています。

介護職員
(介護福祉士)
岩田菜々美

■ フェルマータ船橋

フェルマータ船橋は船橋市にある超強化型老健施設です。利用者様の「自分らしい生活をしたい」という想いを大切に専門職が協力し、在宅復帰と支援に取り組んでおります。一人ひとりに合わせたリハビリだけでなく、介護や看護を提供しています

住 所：船橋市飯山満1-822

電 話：047-425-5581

開設日：平成10年7月17日

入 所：97名

通 所：32名3回転(短時間)



介護士から

相談員へ異動しました。
利用者様だけでなく、
ご家族様ともつながり
支援していければと思います。

支援相談員
松戸直也
(社会福祉士)



老健ちばカレンダー

●7月26日(金)・・・認知症研修会(VR機器使用)

●8月28日(水)・・・栄養と摂食嚥下の研修会(案内未発送)

認知症はVR機器を使つての研修、
栄養も久しぶりの研修となります。
参加お待ちしております。

●編集後記

●コロナ禍で数年中断していましたが、実習生の受け入れを再開しました。久しぶりの実習指導で記録も電子化されており学生より困惑しています。実習生がご利用者と話している場面など久しぶりの光景に職員も刺激を受けているように感じます。やはり育成や研修の場は必要ですね、9月の千葉県老人保健施設大会の開催も楽しみです。(白石)

●こんにちは。最近、紫陽花の名前を教え、息子に飛行機の名前を教えたところ、保育園へ行く時に車窓から見つける度に指差しながら「あじさい!」、「ひこーき!」と大きな声で教えてくれる姿を見て、子供の成長を微笑ましく思う毎日です。私自身は、今号から新しいページを担当させて頂き、少しずつ先輩方に成長させて頂いている状況です。(古田)

●新人・基礎研修会の取材に行きました。私が老人保健施設で仕事を始めた頃を思い出しました。沢山失敗して、利用者やご家族を落胆させてしまうのは、相変わらずだなと反省。新人の皆様は刺激され、良い時間でした。ありがとうございます。(若林)

●子どもが小学校に上がり初めての運動会がありました。初めての運動会に緊張した姿を見ると微笑ましいものです。私の子どもの頃に行っていた競技種目は殆ど行われておらず、少し寂しい気分になりましたが、決して楽しくなかったということは無く、子ども達は盛り上がり、保護者も見ていて楽しい一日となりました。皆様のお子様やお孫様の運動会はいかがでしょう? 運動会の今と昔を考える私。「歳をとったな」と、少し寂しい気持ちになりました。(松戸)

●先日、認知症ケア専門士会の研修で館山に行きました。往復4時間のドライブでしたが、「地域医療の現状と認知症ケア支援の喜び」というテーマでの講演で、有意義なお話が聞けました。今後は、介護と医療の連携、地域貢献事業など積極的に進めていければと思います。(坂本)

●介護報酬改定の編集を終えて感じた事は、加算を取得する為に報酬改定の勉強をするのはとても大変でしたよね? 今回は、新しく協力病院との連携(感染者受入、研修、感染対策実地指導等も含めた連携)を図る事で加算取得に繋がります。今後のコロナ等のパンデミックを想定して強制的に動かされている気がします。この加算もすぐに無くなるのでしょうかね?(福田)